

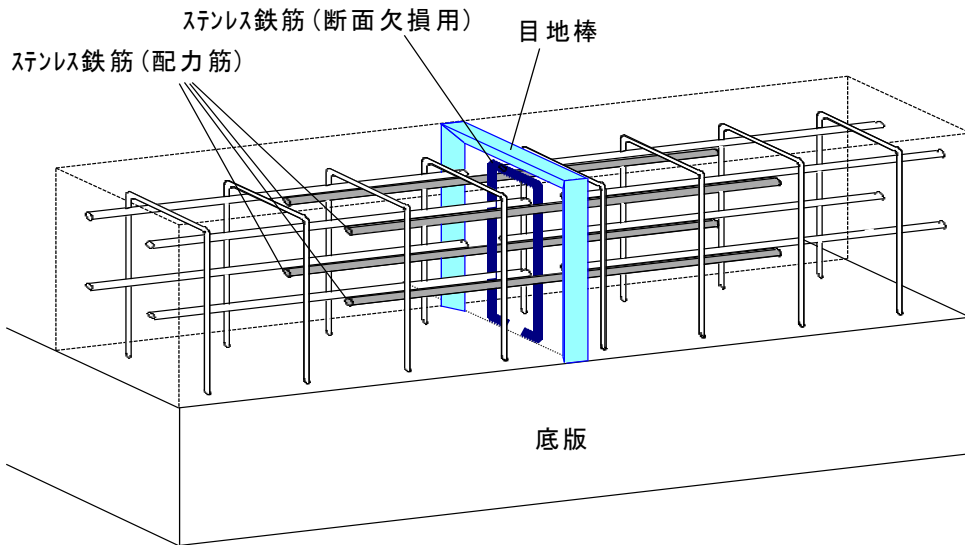
“SD-Bridge工法”

SD-Bridge工法とは？

SD-Bridge工法（特許取得済）は、壁高欄や地覆の目地構造を耐食性の高い**ステンレス鉄筋**を用いて簡略化し、壁高欄や地覆の**施工性と耐久性の向上**を実現する工法です。目地部を鉄筋で構造的に連結しているため、橋梁上部工の**安全裕度の確保**にも寄与します。



SD-Bridge工法の基本概念



- 1) 壁高欄の誘発目地部において、配力筋を**ステンレス鉄筋**を介して**構造的に連結**
- 2) 誘発目地部の**断面欠損材**として**ステンレス鉄筋**を活用



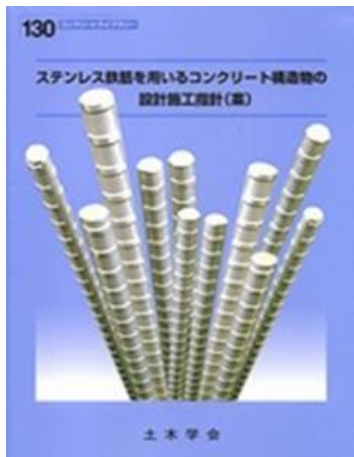
目地の構造の簡略化と構造的な一体化の実現

目地で鉄筋を切らずに連結するため、橋梁上部工の安全裕度が確保されます。また、目地構造の簡略化により、施工性と経済性が向上します。

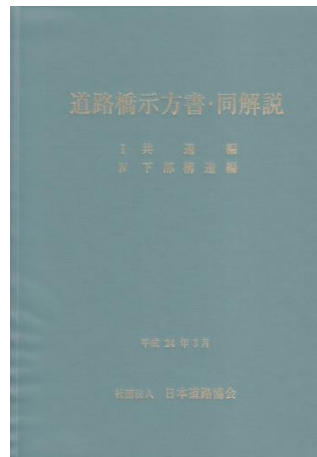
ステンレス鉄筋の規格および規準



JIS G 4322



土木学会設計・施工指針



道路橋示方書(2012)

ステンレス鉄筋は通常鉄筋と同じ方法で加工・組立ができます。

ステンレス鉄筋と通常鉄筋との異種金属接触による腐食の問題は生じないことを確認しています。

